

# 富山経済同友会県へ提言

## 多様な採用目標に

### 人財活躍委

富山経済同友会の人財活躍委員会は3月31日、「様々な人財が富山で輝ける社会を目指して」と題した提言書を県に提出した。女性活躍、高度な知識や技術を持つ外国人人材、兼業副業人材の3本柱で構成している。

2年間の活動をまとめた。提言は、多様な人材採用に向けた採用活動の連携強化、状況に応じた活躍できる環境づくりの推進の2項目。具体的には、県、市町村、経済団体、教育機関など産学官が一丸となった就職支援事業の開催の必要性を指摘。企業側に対しては女性をキャリア職へ登用する環境整備や、兼業副業制度への理解促進の機会を設け

ることなどを求めている。

森弘吉委員長（エムダイヤ代表取締役）と松田浩樹（マイナビ富山支社長）が県庁を訪れ、山室芳剛商工労働部長に提言書を手渡した。懇談で山室部長は4月から県が体制を強化するとして「提言は大きな意義。経済界と連携して、実現に向けてしっかりと取り組みたい」と話した。

（坂本正範）



提言書を提出後、懇談する森弘吉委員長（奥右）ら＝いずれも県庁で